

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 査

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名	地球温暖化防止推進事業				事業期間	— 年度 ~ — 年度														
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2-3-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
目的 (何のために実施するのか)	地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を抑制するため、二酸化炭素排出量削減の取り組みを行う。							手段 (どのような方法で実現するのか)	二酸化炭素排出量削減の取組として、まずは、地球温暖化対策職員行動計画を策定し、市の事務事業について二酸化炭素排出量削減の取り組みを進め、その後、企業や家庭にも省エネ・省資源等の取り組みを広げていく。											
対象 (誰・何を対象としているのか)	市民							成果 (どのような効果が得られるのか)	市内最大の事業者である市が率先して温暖化対策に取り組み、地域における温室効果ガスの削減に貢献することにより地球温暖化の防止につながる。省エネ・省資源等の取り組みにより経費削減にもつながる。											
事業開始時の状況・これまでの経緯	平成13年度に「砂川市温暖化対策推進実行計画」を策定し、市の事務事業による二酸化炭素排出量の削減に取り組んできた。平成23年度には「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3に基づき、新たに「砂川市地球温暖化対策推進実行計画」を策定し、数値目標を設定して二酸化炭素排出量の削減に取り組む。																			

【DO】

実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 計		
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計			
投入された事業費の推移	国	費														0	
		計 画 額															0
		予 算 計 上 額															0
	道	費														0	
		計 画 額															0
		予 算 計 上 額															0
	地 方 債	計 画 額														0	
		予 算 計 上 額														0	
		実 績 額														0	
	そ の 他	計 画 額														0	
		予 算 計 上 額														0	
		実 績 額														0	
	一 般 財 源	計 画 額														0	
		予 算 計 上 額														0	
		実 績 額														0	
事 業 費 合 計	計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	予 算 計 上 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実 績 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業費の推移	事業費予算の内容																
	前年度予算との比較 (増減理由)																
	実績との比較 (増減理由)																

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：策定計画数	指標の求め方：地球温暖化対策に係る計画数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量	指標の求め方：燃料・電気使用量から算出

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画 合計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
指標	活動指標 1 (単位/策定件数)	計画値 実績値	1 1	0 0	0 0		0 0	0 0	1 1		0 0	0 0	0 0	1 1	
	成果指標 1 (単位/t)	計画値 実績値	11,452 10,427	11,336 10,897	11,220 10,596		11,159 11,043	11,043 10,927	10,927 10,810		10,810 10,694	10,578 10,462	10,462 10,346	10,346 10,230	
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)														
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)														
	事業の効率性 (事業費に対する成果)														
	総合評価														
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 成果指標について、市立病院を中心に各施設の燃料の使用量が減少したことにより計画値に比べて実績値は減少した。今後も二酸化炭素排出量の削減に向けた取り組みを継続していきたい。	自己分析： 成果指標について、計画値に比べて実績値は下回ったが、市立病院のCO2排出量が主な原因で、前年度実績からは増となった。今後も二酸化炭素排出量の削減に向けた取り組みを継続していきたい。	自己分析： 成果指標について、市立病院を中心に各施設の燃料の使用量が減少したことにより計画値に比べて実績値は減少した。今後も二酸化炭素排出量の削減に向けた取り組みを継続していきたい。	判断理由： 達成度、成果は指標の動向から上記のとおり判断した。効率性は従前より事業費がかかっていたため「変わらない」とした。これらをトータルして、総合評価は「普通である」とした。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
今後の方向性															
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5： 「第3期 砂川市地球温暖化対策職員行動計画」では、CO2排出量の基準年度を計画期間直前の令和2年度とし、令和7年度を目標年度に設定している。 令和3-4年度のCO2排出量は、計画値を実績値が下回っているが、前年度と比較し実績値は増加している。 改めて職員一人ひとりが環境意識を高め、DXの推進による業務効率化などにより、引き続き市の事務事業に伴って発生するCO2排出量の削減に取り組む。 今後は令和7年度中に策定する予定の次期「砂川市地球温暖化対策推進実行計画」によりCO2排出量の削減に向けた取り組みを進めていきたい。				R8：				R10：						